

施策を構成する事業評価

No.	51	担当課	地域支援課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	5	まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち【コミュニティ・自助・共助・公助】
政策名	3	性別、国籍を超えた共生社会を推進するまちづくり
施策名	1	男女が平等な立場で参画できる社会づくりに取り組みます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし										予算事業番号 (予算事業名)		
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	幼少期からの男女共同参画意識啓発事業	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.7.102038(男女共同参画推進費)
事業概要	平成28年度末に策定した「第3次菊川市男女共同参画プラン」に基づき、該当する事業を実施することにより、男女が個人として尊重され、ともに個性や能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に努める。		
取組内容・結果等(D)	プランに位置付けた117の事業を実施した。 第3次菊川市男女共同参画プランの策定を記念した啓発イベント「ファミリーフェスタ2019」を8月24日に開催し、プランの周知及び男女共同参画の啓発を行った(来場者数延べ302人)。 審議会等における女性委員の登用率は27.0%であった。		
課題・問題点等(C)	審議会等における女性委員の登用率は前年度の26.3%から微増しているが、今後も引き続き男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進める必要がある。		
今後の方向性(A)	性別による固定的な役割分担意識の解消などは若年層からの意識啓発が重要であるため、今後も啓発をはじめ男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを着実に推進していく。		

事業名(中分類)	ワークライフバランス促進事業	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.7.102038(男女共同参画推進費)
事業概要	平成28年度末に策定した「第3次菊川市男女共同参画プラン」に基づき、該当する事業を実施することにより、ワークライフ・バランスの促進に努める。		
取組内容・結果等(D)	リフレッシュ・時保育の充実やファミリーサポートセンターの利用促進など、男女共同参画によるワークライフ・バランスの実現に努めた。 また、市職員を対象としたワークライフバランス研修(1月9日、職員26人参加)、市民向けワークライフ・バランス講演会(1月11日、市民90人参加)を開催するなど、ワークライフ・バランスの促進を図った。		
課題・問題点等(C)	ワークライフ・バランスの実現のためには、男女がともに仕事と子育て・介護等との両立できる働き方を選択できる社会づくりが求められるため、働き方改革など両立支援に向けた環境整備が必要である。		
今後の方向性(A)	ワークライフ・バランスに関するセミナーの実施など、男女がともに仕事と子育て・介護等との両立できる環境の整備を行い、ワークライフ・バランスの推進に努める。		

事業管理シート(施策)

基本目標	5	まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち【コミュニティ・自助・共助・公助】
政策名	3	性別、国籍を超えた共生社会を推進するまちづくり
施策名	1	男女が平等な立場で参画できる社会づくりに取り組みます

事業名(中分類)	女性の職業生活における活躍推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.7.102038(男女共同参画推進費)
事業概要	平成28年度末に策定した「第3次菊川市男女共同参画プラン」の一部を女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「市町村推進計画」に位置づけており、該当する事業を実施することにより、働く女性の活躍推進に努める。		
取組内容・結果等(D)	男女が共に能力を発揮できる就業環境を整備するため、男女共同参画に関する事業所アンケートを実施し、現状把握と施策の推進を図った。併せて、市内事業所に対して「男女共同参画社会づくり宣言事業所」のチラシを配布するなど、登録を促した。また、女性の就業支援事業の実施に対し、内閣府の地域女性活躍推進交付金を活用するなどの支援を行った。		
課題・問題点等(C)	結婚や出産を機に一度離職し、その後再び就職するいわゆる「M字カーブ問題」は以前に比べると改善しつつあるが完全な解消には至っていない。		
今後の方向性(A)	働く場面で活躍したいという希望を持つ全ての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、引き続き「男女共同参画社会づくり宣言事業所」登録促進に努める。また、働きたくても働けない女性のために、引き続き女性の就業支援事業の実施支援を行い女性の活躍推進に努める。		

施策を構成する事業評価

No.	51	担当課	地域支援課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	5	まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち【コミュニティ・自助・共助・公助】
政策名	3	性別、国籍を超えた共生社会を推進するまちづくり
施策名	2	外国人が暮らしやすい環境を整備します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	情報の多言語化による提供事業	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.9.102057(多文化共生推進費)
事業概要	平成28年度末に策定した「第3次菊川市多文化共生推進行動指針」に基づき、日本語が不自由な外国人住民のために、行政情報を多言語化して提供する。		
取組内容・結果等(D)	外国人住民のために、市が毎月発行する広報紙を一部ポルトガル語・英語へ翻訳し、自治会文書にて配布する他、市内の外国人が利用する施設等への配架も行った。また、各課が作成する行政文書や自治会文書等について、ポルトガル語83件、英語50件、中国語9件の計142件を翻訳した。そのほか、「やさしい日本語」の活用を図るため、職員を対象としたやさしい日本語研修会(11月20日、職員20人参加)を開催した。		
課題・問題点等(C)	外国人住民の多国籍化が進んでおり、ICT機器等を活用した対応が求められている。また、誰にとってもわかりやすい「やさしい日本語」の活用を更に推進していく必要がある。		
今後の方向性(A)	ポルトガル語、英語等による多言語化の他、やさしい日本語による行政情報の提供に努める。また、ポケットやスマートプレートなど、ICT機器を活用し、対応の強化を図っていく。		

事業名(中分類)	外国人相談窓口の設置	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.9.102057(多文化共生推進費)
事業概要	平成28年度末に策定した「第3次菊川市多文化共生推進行動指針」に基づき、日本語が不自由な外国人住民のために、市役所窓口の通訳員を配置する。		
取組内容・結果等(D)	日本語が不自由な外国人住民と市職員の意思疎通が図れるようにポルトガル語・英語の通訳員を週5日市役所本庁1階窓口配置した。また、外国人住民が安心して地域で生活できるように、これまで週1回ポルトガル語のみで開設していた外国人住民窓口を常設の窓口へ拡充した。窓口には、ポルトガル語、スペイン語、英語に対応できる相談員を配置したほか、多言語映像通訳や翻訳機器を導入し、多言語での相談体制を整備した。		
課題・問題点等(C)	支所など出先機関には通訳員を配置していないため、日本語の不自由な外国人住民が来庁した場合、窓口での意思疎通がうまく図れない場合がある。		
今後の方向性(A)	外国人相談窓口の相談員を週2回(火・木の午前中)支所に配置し、相談を受け付けるほか、多言語映像通訳、翻訳機器を配置し、日本語が不自由な外国人住民と日本人住民の意思疎通を図る。		

事業管理シート(施策)

基本目標	5	まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち【コミュニティ・自助・共助・公助】
政策名	3	性別、国籍を超えた共生社会を推進するまちづくり
施策名	2	外国人が暮らしやすい環境を整備します

事業名(中分類)	国際交流協会支援事業	予算事業番号 (予算事業名)	2.1.9.102057(多文化共生推進費)
事業概要	平成28年度末に策定した「第3次菊川市多文化共生推進行動指針」に基づき、市民レベルでの、日本人と外国人の相互理解と地域の国際化を目指した協会の活動支援を行う。		
取組内容・結果等(D)	国際交流協会の定例会への出席や日本語教室や国際交流イベント等の開催を支援するなどして協会の支援を行った。		
課題・問題点等(C)	国際交流の発展のため、日本語教室やイベント等の開催を支援するほか、隔年で行っている中学生等海外派遣事業の実施等を支援していく必要がある。		
今後の方向性(A)	定例会への参加や日本語教室、国際交流イベント等の開催支援を行っていく。		

施策を構成する事業評価

No.	52	担当課	市民課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	5	まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち【コミュニティ・自助・共助・公助】
政策名	3	性別、国籍を超えた共生社会を推進するまちづくり
施策名	3	人権擁護活動を推進します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 H27	実績値									目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	人権擁護活動推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	2.3.1.102086(人権擁護委員活動費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保・小・中学校等での人権教室の開催 ・人権啓発作品(作文・ポスター・標語)の募集 ・人権の花運動の実施 ・街頭啓発活動の実施 ・イベントでの参加型啓発の実施 ・定例会や研修会の開催 ・SNS等での活動内容や人権に関する話題の配信 ・人権啓発パネルの作成及び展示 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教室は、市内保育園2園、小学校3校、中学校1校、ぎおんの里及びいきいきサロン東部、小川端サロン利用者に対して実施した。 ・人権作文は、市内3中学校から234点、ポスターは市内7小学校から133点、標語は市内小学5・6年生912点と市内中学1・2年生847点の応募をいただき、優秀作品について表彰を行った。 ・市内9小学校及び子どもの文化センターで人権の花運動を実施し、活動の記録をパネルにしてみたら、菊川市ふれあい広場や人権週間等で展示を行った。 ・街頭啓発活動は、①人権擁護委員の日②よしもお笑いまつりin菊川③菊川市ふれあい広場④人権週間に実施した。 ・参加型啓発として、人権クイズを作成し、菊川市ふれあい広場にて実施した。子ども用と大人用の2種類を用意し、幅広い年齢層に参加してもらうことが出来た。 ・毎月初めに定例会を開催した。視察研修は、①掛川市人権擁護委員が開催する掛川東中での人権教室視察②LGBT映画上映会&トークイベント③なごや人権啓発センター及び名古屋市障害者スポーツセンター視察のハンセン病シンポジウム参加④第21回静岡県障害者芸術祭シンボルイベント⑤富士ハーネス視察及びふじのくに人権フェスティバル⑥浜松視覚特別支援学校及び天竜厚生会視察において行い、幅広い知識の習得に務めた。 ・FacebookページやTwitterで情報の発信を定期的に行った。また、本庁ロビーに設置したタブレット端末で人権ニュースを配信し、たくさんの市民に見てもらうことが出来た。 ・人権啓発パネルは、子どもの人権とLGBTに関するものを作成し、ロビーにおいて常設展示を行った。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員の任期満了による人選に苦慮している。 ・人権擁護委員の認知度をもっと上げる必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員の活動について、今まで以上に広く発信していく必要がある。 ・街頭啓発の際には、どのような層に対象を絞るのかを考えてから場所の選定を行い、対象に合った啓発チラシを作成していく。 ・常に情報収集を行い、時代に即した新しい人権問題について知識の習得をし、幅広い人権相談にも対応できるようにする。 		